

京都府内のすべての学校の先生方

令和7年10月16日
教育課程部会
特定分野に特異な才能のある
児童生徒に係る特別の教育課程
ワーキンググループ
参考資料 3



詳細はこちら

特定分野に特異な 才能のある 幼児児童生徒への支援

ご相談ください



京都教育大学 学びサポート室では、「知的ギフテッド教育支援部門」を設置し、2025年度から京都府教育庁より「特定分野に特異な才能のある児童生徒への支援の推進事業」の再委託を受けています。

この事業では、特定の分野で優れた才能をもつ児童生徒が、安心して学校生活を送れるよう、保護者や教職員の方々を対象とした相談支援を行っています。ご希望に応じて、児童生徒に関するケース会議への参加や教育相談にも対応いたします。「ギフテッド」や「特定分野に特異な才能がある」といった正式な診断がなくても、ご相談いただけます。お話を伺った上で、必要に応じて他の機関をご案内することも可能です。

関心をお持ちの方は、どうぞお気軽にお問い合わせください。



教育の専門家はもちろん
学内外の医師や心理士も
協力しています。



学校からのお申し込みの
他、保護者からの申し込
みも受け付けています。*



・子どもに関する相談
・教職員向け研修会 等…

子どもたちに向けた支援に
つながることに積極的に対
応します。

※丁寧にアセスメントを行うため、原則として保護者の方だけでなくお子様のご同席をお願いしております。保護者のみの場合は連携する民間団体による親の会や相談会へお繋ぎいたします。詳しくは、裏面やホームページをご覧ください。

(お問い合わせ)

京都教育大学 総合教育臨床センター

TEL : 075-644-8354

Mail : manasapo@kyokyo-u.ac.jp



京都府教育委員会



文部科学省



相談支援体制



このたび学びサポート室では、特定分野に特異な才能のある幼児児童生徒に関する相談支援事業を開始しました。特異な才能のある子どもたちの中には、数学や理科といった学習だけでなく、国語や芸術、体育などさまざまな領域で秀でた才能を有する人たちがいます。同時に、自分の得意を伸ばす機会が得られず、学校の集団生活になじめないこともあります。発達障害と特異な才能の両方を有すると、その秀でた才能ゆえに支援の必要性に気づかれず、適切な支援につながらないこともあります。しかし未だ日本では、こうした子どもたちへの支援のシステムは十分に整っていません。そこで、京都府市内の子どもたちについて、本学の知的ギフテッド教育支援部門の担当教員を中心に、本人、保護者、学校からの相談にのり、発達特性のアセスメントや子育てのアドバイス、ケース会議等への参加や教職員向け研修などを行います。皆さまの気づきが相談への第一歩。ぜひご活用ください。



小谷 裕実

(京都教育大学学びサポート室長)



知的ギフテッド教育支援部門担当の伊藤駿です。これまで600を超えるご家庭からの相談を伺ってきました。今回の文部科学省による事業のうち都道府県単位の相談支援の採択は京都府のみで、身が引き締まる想いです。特定分野に特異な才能のある児童生徒は、ついその才能に目がいきがちで、支援の必要性を理解してもらえないことが少なくありません。児童生徒本人や保護者・学校の皆さんのお話をしっかり伺い、少しでもできることをやっていければと思っていますので、まずはお気軽にご相談ください。

伊藤 駿 (京都教育大学学びサポート室講師)



田尻 智哉 (本事業に協力いただいている医師)

2020年 東京大学医学部卒業、組合立諏訪中央病院、東京大学医学部附属病院、地方独立行政法人栃木県立岡本台病院等で勤務し、現在は東京大学医学部附属病院助教。
精神科医として、子どもの心の健康や発達に関するご相談に取り組んでいます。これまで病院やクリニック、児童相談所や学校、発達支援の現場で、多様な困りごとに向き合ってきました。学校になじめなかったり気になる行動がある特別な才能を持つお子さんへの支援など、お気軽にご相談ください。



NPO 法人 ROJE (本事業に協力いただいている団体)

2005年設立、設立以降、大学生やOBOGが中心となり教育支援活動を展開。2021年よりギフテッド傾向のある子どもたちへの支援を開始し、2023～2024年度に文部科学省による「特定分野に特異な才能のある児童生徒への支援の推進事業」に採択され、全国の教職員、保護者の相談支援を担当。現在は東京都渋谷区等で対面の居場所を開催しつつ、オンラインで子ども・保護者の支援を実施している。